

平成30年度 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業報告

<事業概要>

平成30年度は、公益財団法人の認定から7年目となり、これまでの経験を十分に活かしながら事業計画に基づき、各部門とも積極的に事業を推進し、地域住民の公益の増進に貢献しました。

夜間休日救急診療所部門においては、急病患者の初期救急医療を主たる目的とし、宇都宮市の指定管理者として宇都宮市医師会、宇都宮市歯科医師会及び宇都宮市薬剤師会の協力のもとに管理運営をしており、年末年始やインフルエンザ流行期等については患者の状況に応じ、初期救急医療体制を適切に確保し、安全・安心な医療サービスの提供に努めるとともに、「救急医療の適正受診」等についての啓発活動を積極的に実施いたしました。平成30年度の実患者数については、延べ32,206人、前年度比1,447人の減となりました。

健診センター部門においては、疾病の早期発見を図るための各種健康診断の実施など、地域住民の健康維持・増進に向け事業を推進してまいりました。事業所健診の受診件数は、小規模事業所を対象とした集団健診の受診者減に伴う定期健康診断等の減少等が要因となり、前年度比633件減となりました。宇都宮市から委託を受け実施している住民健診は、平成30年度から乳房超音波検査が導入されたことに伴い、個別マンモグラフィ検査が廃止となり、乳がん検診に集約され、全体では、前年度比108件増となりました。子ども健診については、全体で前年度比381件減となりました。平成30年度の健康診断受診者の総件数については、延べ107,289件、前年度比906件の減となりました。また、普及・啓発活動では、自転車のプロ競技団体とタイアップし、当事業団の講堂において事業所の健診担当者等を対象に「働き盛り世代のからだを作る！」と題した講演会を行い、労働者の健康意識の向上に努めたほか、横断幕やラジオ・新聞等様々な媒体を活用して各種健診の受診率向上に努めるとともに、事業所健診の検査結果等を基に、受診者の生活改善に役立つ健康教室等を開催し、積極的に健康診断後のフォローに努めました。また、リスクマネジメントの組織的な推進や精度管理、安全管理を徹底し、事故防止の意識を高めるとともに、個人情報の適正管理に努めました。

准看護高等専修学校及び歯科衛生士専門学校部門においては、地域保健医療への貢献が期待される有能な人材を育成するため、教育環境や教育内容などの充実を図るとともに、新年度の入学生を確保するため、進学相談会への参加や学校見学会等を実施しました。また、資格取得の支援及び就業支援に力を入れ、地域医療の担い手として准看護師及び歯科衛生士を地域の医療機関等へ輩出いたしました。

1 夜間休日救急診療所部門

当診療所は、急病患者の応急処置を主たる目的として、夜間や休日等の初期救急医療を確保するため、当事業団が宇都宮市の指定管理者として宇都宮市医師会、宇都宮市歯科医師会及び宇都宮市薬剤師会の協力のもと管理運営しております。診療は、毎夜間と日曜祝日の昼間に実施し、特に患者が増加するゴールデンウィーク、旧盆、年末年始の繁忙期やインフルエンザの流行期などについては、前年度までの患者実績に合わせてスタッフを増員配置しました。

平成30年度の診療所実施状況については、昼間診療を75日、夜間診療（準夜・深夜）を365日実施し、総患者数は前年度比1,447人減の延べ32,206人となりました。

また、事業団が開設して35年が経過し、当診療所も老朽化、狭あい化が進み、さらに、感染症対策やバリアフリー化、プライバシーの保護などの対策も必要になってきたことから、市、市医師会、市歯科医師会、市薬剤師会、事業団で構成する理事レベルの会議を開催し、参画しました。

(1) 実施状況

ア 診療日、診療時間、受付時間、開設日数

区分	診療科	診療日	診療時間	受付時間	開設日数
昼間	医科 歯科	日曜、祝日、国民の休日	午前9時～午後5時	午前8時30分～午前11時30分 午後0時30分～午後4時30分	75日
		旧盆(8/11～15)			
		年末年始(12/30～1/3)			
夜間	医科	毎日	午後7時30分～翌朝午前7時	午後7時～翌朝午前6時30分	365日
	歯科	毎日	午後7時30分～午前0時	午後7時～午後11時30分	

イ スタッフ動員数

(単位:人)

区分	医師	歯科 医師	薬剤師	看護師	衛生士	事務員	合計	前年度比較	
								動員数	増減
昼間	247	89	172	367	103	328	1,306	1,257	49
準夜	822	382	467	1,244	399	891	4,205	4,177	28
深夜	730	-	365	730	-	365	2,190	2,190	0
合計	1,799	471	1,004	2,341	502	1,584	7,701	7,624	77
前年度	1,787	462	994	2,314	487	1,580	7,624	/	
増減	12	9	10	27	15	4	77		

ウ 医科患者利用状況

医科における患者数については、概ね減少傾向で推移し、1月には6千人余の受診者を数えたものの、総患者数は前年度比1,402人減の29,403人となりました。

毎年多くの罹患者が出るインフルエンザは、12月から流行期に入り、1月にピークを迎え、3月までに前年度比52人増の4,089人を数えました。

①医科月別受診者数

(単位：人)

区分	30年												合計	前年度比較		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		日数	増減	
														患者数		
昼間	日数	6	7	4	6	8	7	5	6	7	8	5	6	75	73	2
	患者数	649	758	226	579	855	596	402	434	1,147	2,641	987	480	9,754	10,169	△ 415
	1日平均	108.2	108.3	56.5	96.5	106.9	85.1	80.4	72.3	163.9	330.1	197.4	80.0	130.1	139.3	△ 9.2
夜間	日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	365	0
	患者数	1,209	1,123	828	1,359	1,150	882	889	855	1,268	2,722	1,398	934	14,617	15,409	△ 792
	1日平均	40.3	36.2	27.6	43.8	37.1	29.4	28.7	28.5	40.9	87.8	49.9	30.1	40.0	42.2	△ 2.2
深夜	患者数	455	382	338	471	476	361	384	318	410	739	397	301	5,032	5,227	△ 195
	1日平均	15.2	12.3	11.3	15.2	15.4	12.0	12.4	10.6	13.2	23.8	14.2	9.7	13.8	14.3	△ 0.5
合計	2,313	2,263	1,392	2,409	2,481	1,839	1,675	1,607	2,825	6,102	2,782	1,715	29,403	30,805	△ 1,402	
前年度	2,183	2,603	1,580	2,207	2,674	2,159	1,858	1,801	3,239	5,148	3,168	2,185	30,805			
増減	130	△ 340	△ 188	202	△ 193	△ 320	△ 183	△ 194	△ 414	954	△ 386	△ 470	△ 1,402			

②インフルエンザ患者数 (単位：人)

平成29年度	平成30年度	増減
4,037	4,089	52

③医科患者転送状況 (単位：人)

区分	帰宅	転送	合計
患者数	28,785	618	29,403
構成比	97.9%	2.1%	100%
前年度	30,141	664	30,805
増減	△ 1,356	△ 46	△ 1,402

④転送機関別内訳 (単位：人)

区分	後方2次病院					後方1.5次病院					獨協	自治	その他	合計
	済生会	NHO柄	JCHO	宇記念	NHO宇	済生会	宇記念	柴	宇東	宇第一				
転送数	294	130	48	82	9	4	0	0	4	1	14	9	23	618
構成比	47.5%	21.0%	7.8%	13.3%	1.5%	0.6%	0.0%	0.0%	0.6%	0.2%	2.3%	1.5%	3.7%	100%
前年度	341	114	52	78	16	2	0	0	0	3	25	11	22	664
増減	△ 47	16	△ 4	4	△ 7	2	0	0	4	△ 2	△ 11	△ 2	1	△ 46

エ 歯科患者利用状況

歯科における患者数については、概ね前年度に準じた受診傾向で推移し、前年度比 45 人減の 2,803 人となりました。

① 歯科月別受診者数

(単位：人)

区分		30年												31年	合計	前年度比較	
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月			日数	比較増減
昼間	日数	6	7	4	6	8	7	5	6	7	8	5	6	75	73	2	
	患者数	54	113	26	43	160	59	51	57	144	138	35	56	936	915	21	
	1日平均	9.0	16.1	6.5	7.2	20.0	8.4	10.2	9.5	20.6	17.3	7.0	9.3	12.5	12.5	0	
夜間	日数	30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365	365	0	
	患者数	145	193	139	137	202	156	141	141	179	181	119	134	1,867	1,933	△ 66	
	1日平均	4.8	6.2	4.6	4.4	6.5	5.2	4.5	4.7	5.8	5.8	4.3	4.3	5.1	5.3	△ 0.2	
合計		199	306	165	180	362	215	192	198	323	319	154	190	2,803	2,848	△ 45	
前年度		229	296	154	204	320	217	192	196	346	318	171	205	2,848			
増減		△ 30	10	11	△ 24	42	△ 2	0	2	△ 23	1	△ 17	△ 15	△ 45			

② 歯科患者転送状況 (単位：人)

区分	帰宅	転送	合計
患者数	2,786	17	2,803
構成比	99.4%	0.6%	100%
前年度	2,828	20	2,848
増減	△ 42	△ 3	△ 45

③ 転送機関別内訳 (単位：人)

区分	NHO栃木	獨協	自治	その他	合計
転送数	5	11	1	0	17
構成比	29.4%	64.7%	5.9%	0.0%	100%
前年度	3	14	3	0	20
増減	2	△ 3	△ 2	0	△ 3

(2) 診療体制

地域住民の要望にそった初期救急としての診療体制を充実するため、関係医療機関との連携を図るとともに必要な人員の確保に努めました。

ア 医師の安定確保を目指し、派遣協力医療機関との連携を強化しました。

イ 後方病院及び後方支援病院をはじめ、協力医療機関との連携を深め、円滑な患者の転送に取り組みました。

ウ 患者の受入実績、繁忙状況等を踏まえた上でスタッフの充実を図りました。特にゴールデンウィーク、旧盆及び年末年始の繁忙期や、インフルエンザ流行期における患者増に対して、医師、歯科医師、薬剤師等スタッフを増員し、円滑な診療を行うための診療体制の強化に努めました。

エ 医療サービス向上のため、年4回(4月、8月、12月、3月)看護師、歯科衛生士、事務員を対象に繁忙期の診療体制の確認、緊急時の対応、医療機器の取扱等の研修を実施しました。

また、薬剤師を対象とした研修も実施し、円滑な薬局業務のための課題検討や情報の共有化を進めました。

オ 受付時間及び休憩時間の周知を図り，従事者の勤務環境を改善し，より安全・安心な一次救急医療を提供できるよう努めました。

(3) 普及・啓発活動

地域住民に対し救急医療の理解と健康に対する知識の普及を図るため，以下の取り組みを実施しました。

ア 親子学級などにおける啓発活動

妊婦やその夫を対象に市保健センターで開催される「ママパパ学級」において，「救急医療の適正受診」についてのチラシの配布や，夜間休日救急診療所の適切な利用の仕方について案内を行いました。

イ メディアを通じた啓発活動

ゴールデンウィーク，旧盆，年末年始における夜間休日救急診療所の受診の仕方や季節の節目における健康に関するワンポイントアドバイスをラジオで放送しました。

また，新聞折り込みにおいても，健康維持に関する啓発記事を，年2回（7月，10月）掲載しました。

ウ 公共機関等における啓発活動

保護者を対象に，夜間休日救急診療所の受診の仕方や症状に応じた対処法のチラシを子育てサロンや「赤ちゃん訪問（市保健師訪問指導）」時に配布しました。

2 健診センター部門

当健診センターは、地域住民の健康維持・増進を図るため、健診事業、健康支援事業、地域の健康づくりに関する情報収集・情報発信、普及・啓発活動等を実施しております。

平成30年度は、中小事業所の従業員を中心とした事業所健診及び市民を対象とした住民健診や普及・啓発活動等各種公益目的事業を積極的に推進しました。

健診事業においては、住民健診で僅かな増加がみられましたが、事業所健診、子ども健診ともに受診者数は減少傾向となり、合計では前年度比906件減の107,289件の実施となりました。

健康支援事業では、住民健診において、乳がん検診の待ち時間を利用し、乳房自己触診指導勸奨を強化したことにより希望者が増加し、全体では前年比922件増の3,765件の実施となりました。

(1) 健診事業

健診受診件数

(単位：件)

健康診断種別	平成30年度		平成29年度		増減		
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	増減	増減率(%)	
ア 事業所健診	定期健康診断	20,717	19.3	21,459	19.9	△742	△3.5
	生活習慣病予防健診	11,215	10.5	11,015	10.2	200	1.8
	人間ドック	1,766	1.6	1,741	1.6	25	1.4
	特殊健康診断	3,136	2.9	2,962	2.7	174	5.9
	結核検診	4,281	4.0	4,313	4.0	△32	△0.7
	その他の健診	1,704	1.6	1,756	1.6	△52	△3.0
	ストレスチェック	5,537	5.2	5,743	5.3	△206	△3.6
	小計	48,356	45.1	48,989	45.3	△633	△1.3
イ 住民健診	節目健診	0	0.0	2,596	2.4	△2,596	皆減
	節目地区健診	1,370	1.3	0	0.0	1,370	皆増
	節目女性健診	1,476	1.4	0	0.0	1,476	皆増
	地区健診	7,638	7.1	7,695	7.1	△57	△0.7
	地区巡回健診	8,615	8.0	8,510	7.9	105	1.2
	乳がん検診	6,112	5.7	4,933	4.6	1,179	23.9
	子宮がん検診	4,950	4.6	5,150	4.8	△200	△3.9
	特定健康診査単独	220	0.2	160	0.1	60	37.5
	結核検診	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	個別マンモグラフィ健診	0	0.0	1,229	1.1	△1,229	皆減
	小計	30,381	28.3	30,273	28.0	108	0.4
ウ 子ども健診	心臓検診	14,129	13.2	14,303	13.2	△174	△1.2
	結核検診	4,994	4.6	5,136	4.7	△142	△2.8
	その他の健診	9,429	8.8	9,494	8.8	△65	△0.7
	小計	28,552	26.6	28,933	26.7	△381	△1.3
合計	107,289	100.0	108,195	100.0	△906	△0.8	

ア 事業所健診

引き続き顧客サービスや健康診断受診勧奨等の普及啓発活動を推進しましたが、小規模事業所を対象とした集団健診の受診者減に伴う定期健康診断等の減少等が要因となり、全体で前年度比 633 件減の 48,356 件の実施となりました。

イ 住民健診

宇都宮市から委託を受けて実施しており、前年度に引き続き早朝健診・出前健診・協会けんぽとのタイアップ健診等を実施しました。

また、平成 30 年度から乳房超音波検査が導入されたことに伴い、個別マンモグラフィ検査が廃止となり、乳がん検診に集約されました。全体では、前年度比 108 件増の 30,381 件の実施となりました。

ウ 子ども健診

市内小学校 1 年生、4 年生及び中学校 1 年生の児童・生徒を対象とした主要事業の学校心臓検診は、ほぼ前年度並の 14,129 件の実施となりました。

子ども健診全体では、前年度比 381 件減の 28,552 件の実施となりました。

(2) 健康支援事業

健康支援事業実施件数

(単位：件)

保健指導区分	平成30年度		平成29年度		増減	
	件数	構成比(%)	件数	構成比(%)	増減	増減率(%)
特定保健指導	332	8.8	306	10.8	26	8.5
その他の事後支援事業	3,433	91.2	2,537	89.2	896	35.3
合計	3,765	100.0	2,843	100.0	922	32.4

平成 30 年度から宇都宮市の乳がん検診において乳房超音波検査が導入されたことに伴い発生した待ち時間を利用し、乳房自己触診の指導勧奨を強化したことにより希望者が増加し、その他の事後支援事業は前年度を 896 件上回り、全体では前年比 922 件増の 3,765 件の実施となりました。

(3) 地域の健康づくりに関する情報収集・情報発信

平成 29 年度の宇都宮市国民健康保険の被保険者に対する特定健康診査の健診結果のうち、メタボリックシンドローム判定、特定保健指導レベル判定、検査項目別判定及び血液検査判定についての分析結果及び労働安全衛生法等に基づく職域の労働者の一般健康診断の結果の分析結果を宇都宮市に提供しました。

(4) 普及・啓発活動

ア 健康教育及び健康指導

① 保健師や管理栄養士が宇都宮市内の事業所や公民館等に出向いて、要望に応じたテーマで講義や指導を行い、市民の健康意識向上に努めました。

実施日	出向先	参加人数
5月19日	小平興業(株)	56
6月30日		17
10月6日		17
12月8日		16
6月4日	月の会	17
8月1日	悠遊会	19
8月21日	岩戸会	21
9月18日	陽寿会	23
9月27日	宇都宮地区ゼロ災運動研究会	24
10月16日	さわやかサロン	49
10月23日	椿齢会	30
11月8日	おおいちょう宇都宮会	71
合計		360

- ② 保健師と自転車のプロ競技団体がタイアップし、事業団の講堂において事業所の健診担当者等を対象に「働き盛り世代のからだを作る！」と題した講演会を行い、労働者の健康意識の向上に努めました(10月25日、28事業所の38名が参加)
- ③ 市内小中学校児童・生徒を対象に実施した平成30年度心臓検診の結果データを基に統計資料を作成し、平成30年11月に市内小中学校養護教員宛報告をしました。

イ 各種健診の受診率向上への取り組み

① 事業団建物及び検診車両を利用した市民への周知

下記の運動月間において横断幕やボード等を事業団建物や検診車両に掲示し、広く市民へ周知しました。また、その他の月においては「健診受診勧奨」のボードを検診車両に掲示し、健診の受診率アップに努めました。

掲示期間	内 容
4月	健康診断受診勧奨
5月	禁煙
6～8月	健康診断受診勧奨
9月	がん征圧
10月	乳がん
11月	糖尿病
12～1月	高血圧
2月	生活習慣病
3月	大腸がん

② 市主催のイベント等への参加

- ・ 日本対がん協会主催のがん患者支援チャリティーイベント「リレーフォーライフ」(9月8日・9日、会場：壬生町総合公園)に参加し、職員ががん検診の重要性についてPRする横断幕を掲げ行進して、健診の受診勧奨を行いました。
- ・ 市が主催する「食育フェア」(10月14日)に参加し、保健師と管理栄養士が「美味しく・楽しく・元気よく」をテーマとして、バランスの良い食事の摂り方やおやつに含まれる砂糖や油の量、野菜の重要性などを指導するほか、来場者と一緒に野

菓のキーホルダー作成体験を行うなど、市民の健康意識の向上を図るとともに健診の受診率アップに努めました。

- ・ 市が主催する「人づくりフォーラム」(11月24日)に参加し、子どもたちを対象とした健診スタッフの職業体験を実施するとともに、健康診断受診勧奨のチラシを配布して健診受診率向上を図りました。

ウ ラジオ対談の実施

「乳がんについて考える」をテーマに、保健師、乳がんサバイバー、CRT栃木放送アナウンサーによるラジオ対談の放送を実施し(10月1日、2日(再放送))、地域住民の疾病予防や健康に関する意識の醸成及び健診受診率向上を図りました。

エ 健康冊子の配布及びホームページへの掲載

保健師が健康に関するテーマでリーフレットを作成し、市内の事業所等に配布するとともに、事業団ホームページに掲載して広く市民に健康情報を提供しました。

※ ヘルスアップレター

テーマ:「知って安心!がん検診(胃,大腸,肺)」,「知って安心!がん検診(乳・子宮)」,「慢性腎臓病(CKD)予防のために」,「ストレスチェック制度とは」

※ 元気アップ通信

テーマ:「知って安心!がん検診(胃・大腸・肺)」,「知って安心!がん検診(乳・子宮)」,「慢性腎臓病(CKD)予防のために」,「胃がん予防,早期発見のために」

オ メディアを通じた普及啓発活動

地域住民が健康について考えるきっかけとなるよう、各種疾病や健康に関する予防月間等の際に、その意義や予防について栃木放送と下野新聞を通じて広く市民に周知しました。

実施月	内 容	
	栃木放送	下野新聞
4月	健康診断受診勧奨	—
5月	禁煙	禁煙
6月	胃がん	—
7月	前立腺がん	—
8月	子宮がん	—
9月	がん征圧	がん征圧
10月	乳がん	乳がん
11月	糖尿病	糖尿病
12月	高血圧	—
1月	肝臓病	—
2月	生活習慣病予防	生活習慣病予防
3月	大腸がん	大腸がん

(5) 統括責任者の配置

住民健診の受診者の増加及び高齢化に対応するため、健診現場に統括責任者（フロアマネージャー）を前年度に引き続き配置し、トラブルやクレームに速やかに対応するなど、健診の円滑な実施とサービスの向上に努めました。

(6) 健診システムの管理・運用の安定化

平成 30 年度から住民健診の乳がん検診において乳房超音波検査が導入されたことに伴い、マンモグラフィ検査との総合判定システムを構築し、健診システムの管理・運用の安定化を図りました。

(7) 精度管理の向上

ア 平成 30 年度から宇都宮市で導入された乳房超音波検査に伴い、スキルの高い技術と知識を習得するため臨床検査技師を大学病院等の実習に長期にわたり参加させるなど円滑な実施に努めました。さらに、マンモグラフィ検査との総合判定に対応する判定医師等による勉強会を実施し、精度管理の向上に努めました。

イ 健診スタッフの技術の向上

全国労働衛生団体連合会や人間ドック学会等が主催する各種の学会、研修会に保健師、看護師、臨床検査技師、診療放射線技師等を参加させ、資質技術の向上に努めました。

ウ 内部精度管理の充実

日常的に使用する各種検査機器が確実に稼動し、正確なデータを確保できるよう日々の始業点検や保守点検を徹底するとともに、再現性の検証等を定期的の実施しました。

エ 外部精度管理への参加

全国労働衛生団体連合会が主催する X 線検査、血液検体検査、労働衛生検査及び日本乳がん検診精度管理中央機構が主催するマンモグラフィ検査の外部精度管理事業に参加し、各種検査の精度向上に努めました。

(8) 安全管理の徹底

ア リスクマネジメントの推進

健診業務におけるヒヤリハット事例の原因分析、防止対策等を組織的に検討し、その結果を職員及びスタッフへ周知し、事故防止への意識昂揚を図り、安心・安全な健診の実施に努めました。

イ 個人情報保護対策の強化

重要な個人情報を取り扱う健診機関として、健診受診票等帳票類や検査データ等の個人情報文書類を安全かつ適切に管理するため、情報処理室への入退室管理の徹底を図るなど、個人情報の適正管理に努めました。

(9) 施設の再整備による有効活用

前年度に引き続き老朽化、狭隘化した健診センター施設の見直し計画に基づき、平成 30 年度については、検査室及び心電図室等の移動を行い、2 年間の施設再整備計画が完了いたしました。

3 准看護高等専修学校部門

准看護師として地域の保健医療に貢献し得る有能な人材を育成するため、教育環境の充実や教員の資質向上を図るとともに、生徒の技術力の強化や臨地実習の指導の充実のため、効率的な教員配置に努めました。また、意欲ある生徒確保を目的とした広報活動を積極的に実施しましたが、引き続き景気動向が堅調に推移しており、より条件の良い方へ人材が集まる傾向にあることから、応募者が前年度と同数の44名に留まり、平成31年度入学生は31名となりました。

(1) 教育実施状況

学 年	人 数 30年4月	教育科目（座学講義）					臨地実習		教育実施 時間合計
		基 礎 科 目	専 門 基 礎 科 目	専 門 科 目	合 計	講 師 数	実 習 時 間	実 習 施 設	
		国 語 外 国 語 音 楽 そ の 他	人体の仕組み と働き 食生活と栄養 薬物と看護 そ の 他	基 礎 看 護 成 人 看 護 老 年 看 護 母 子 看 護 精 神 看 護					
(人)	(時間)	(時間)	(時間)	(時間)	(人)	(時間)	(機関)	(時間)	
1年生	30	105	305	415	825	55	238	13	1,063
2年生	34	0	80	250	330		497		827
合 計	64	105	385	665	1,155	55	735	13	1,890

(2) 生徒確保対策の強化

ア 学校訪問，県内のハローワーク（15か所），市・町のひとり親家庭に対する自立支援担当課及び福祉関係・生活保護担当課（24か所）を訪問し，情報提供を行うとともに，宇都宮市内の保育園や子育てサロンにポスター掲示を依頼しました。

イ 学校見学会を年3回（8月平日，9月休日，10月休日）実施しました。

ウ 生徒募集について，県内の高等学校，宇都宮市内の中学校，宇都宮市医師会及び宇都宮市内の福祉施設に募集要項を配付したほか，従来からのインターネットによる募集や宇都宮市広報紙及びタウン情報紙への掲載を行うなど，情報発信を図りました。

エ 貸与・給付や返還免除など，一定の要件を満たせば，入学金や授業料等に係る生徒の経済的負担を軽減できる国や県の奨学金や各種修学資金制度について，訪問先，学校見学会参加者，来校者に向けPRを行いました。

(3) 教育環境の充実

ア 生徒指導，相談体制の強化を図るため，「大人の発達障害への対応について」のセミナーの受講及び報告会を実施し，専任教員のカウンセリング能力の向上に努めました。

イ 学習能力や家庭環境に問題を持つ生徒の個別相談，保護者との面談を行うとともに，個々の特性に合わせた指導を実施しました。

(4) 教育内容の充実

ア 専任教員の資質の向上及び教育力の強化のため栃木県看護系教員協議会主催の下記の研修に参加しました。

- ・ 夏期研修会（3名），12月研修会（2名），2月研修会（1名）
- ・ 領域別研究会「管理領域」（1名）
- ・ 領域別研究発表会（1名）

イ 講師及び実習指導者との緊密な連携の推進を図るため，教員の实習引率や基礎実習各施設巡回及び反省会への出席とともに，実習指導者会議を開催し，指導者と実習内容について協議を行いました（参加人数77名）。

(5) 実践活動の充実

ア 那須高原自然の家において，1・2年生合同の研修（調理活動・オリエンテーリング）を実施し，学年間の交流を図りました。

イ 2年生を対象に，福島県会津方面において看護の歴史にゆかりのある会津の歴史を知り，見聞を広め，感性を豊かにすることを目的とした研修を実施しました。

ウ 1年生を対象に，税理士による特別講義「租税教室」を実施しました。

(6) 地域医療機関への就業支援

ア 准看護師募集機関と生徒の希望・特性とのマッチング等を図るための相談及び指導を行うとともに，栃木県看護協会が実施する看護学生への就労指導啓発事業を利用し，同協会理事による特別講義を実施しました。

イ 就業支援を行い，看護師学校進学者9名を除く23名のうち21名が県内の医療機関，高齢者福祉施設に就職しました。

(7) 生徒の状況

ア 1年生の状況

	人数	備考
生徒数	30	入学者 27名（受験者数 44名） 復学者 3名
進路変更等	6	退学者 5名 休学者 1名
進級者	24	

イ 2年生の状況

	人数	備考
卒業生	32	
うち准看護師試験合格者	32	合格率 100%
(卒業生の進路)		
看護師学校進学者	9	進学率 28.1%
看護師学校進学兼就職者	1	進学兼就職率 3.1%
医療機関就職者	20	就職率 62.5%
就職活動中	2	6.3%
その他	2	休学者 1名, 退学者 1名
合計	34	

ウ 平成 31 年度入学生の募集状況

試験科目…………… 国語, 一般教養, 作文, 面接

	試験日	受験者数	合格者数 (入学者数)	競争率
推薦入試	平成30年10月23日 (一般教養・作文・面接)	2	2(2)	/
一般入試(第1回)	平成30年12月11日 (国語, 一般教養, 作文, 面接)	25	19(18)	
一般入試(第2回)	平成31年 1月29日 (国語, 一般教養, 作文, 面接)	13	11(10)	
一般入試(第3回)	平成31年 3月12日 (国語, 一般教養, 作文, 面接)	4	2(1)	
合計		44	34(31)	1.29

※ 平成 31 年度入学生 31 名

4 歯科衛生士専門学校部門

歯科衛生士として時代の要請に応える知識や技術を修得させ、口腔衛生の向上に資する有能な人材を養成するため、講師及び臨床実習指導教員との連携強化を図り指導の強化に努めるとともに、教育器材及び学校図書を整備を行うなど、教育環境の充実を図りました。

また、3年制教育移行後の授業計画に基づく講義を継続するとともに、大学病院・介護施設において実習を実施しました。3年生については、地域医療機関への就業支援を行い、歯科衛生士としての進路が決定できるよう支援しました。

学生の確保については、市内の医療機関に加え県内の医療機関等に学生募集案内のポスター掲示を依頼したほか、新聞広告にオープンキャンパスの特集を掲載するとともに、平成30年度新たに、JR宇都宮駅及び東武宇都宮駅構内に学生募集ポスターを掲示するなど広報活動の強化に努めました。

(1) 教育実施状況

学年	人数 30年4月 (人)	教育科目(座学講義)					合計 (時間)	講師数 (人)
		基礎分野 (時間)	専門基礎分野 (時間)	専門分野 (時間)	選択・必修分野 (時間)			
		英語 生物 心理学 その他	解剖学 組織発生学 生理学 生化学 歯牙解剖学 病理学 薬理学 その他	歯科衛生士概論 歯科臨床概論 保存修復歯内療法 歯科補綴学 歯周保存療法 口腔外科学 その他	情報処理 社会人マナー 耳鼻科 内科 小児科			
1年生	50	105	204	471	30	810	35	
2年生	47	45	15	45	45	150	10	
3年生	40	45	75	284	90	494	14	
合計	137	195	294	800	165	1,454	59	

臨地実習		施設臨床実習 介護施設実習		教育 実施 時間 合計 (時間)
実習 時間 (時間)	実習 施設 (機関)	実習 時間 (時間)	実習 施設 (機関)	
—	—	—	—	810
720	32	—	—	870
270		36	5	800
990	32	36	5	2,480

(2) 学生確保対策の強化

- ア 入学案内のため、推薦指定校（34校）を訪問しました。
- イ オープンキャンパスを年4回（7月休日・平日，8月平日，9月休日）実施しました。
- ウ 栄美通信主催進学相談会のほか、栃木県内の学校等で開催される進学相談会に参加しました。
- エ 広報活動の充実を図るため、下記の取り組みを実施しました。
 - ・ 県内の歯科医院等へ学生募集ポスターを送付
 - ・ 宇都宮市内の全中学校に学生募集ポスターを送付
 - ・ 宇都宮市広報紙掲載（10月）
 - ・ インターネットによる学生募集の広報
 - ・ 学生募集案内を新聞広告へ掲載
 - ・ JR宇都宮駅，東武宇都宮駅構内に学生募集ポスターを掲示

(3) 教育環境の充実

- ア 光学式マーク読み取り装置や教員用パソコンの購入，学生用女子トイレの改修工事など教育環境の充実を図りました。

(4) 教育内容の充実

- ア 講師及び指導教員との円滑な連携の推進を図るため、講師指導教員打合会を開催し、指導教員と実習内容について協議を行いました（参加人数92名）。
- イ 国家試験合格率の向上を図るため、国家試験特別講義や補講を実施しました。また、平成30年度から改正したカリキュラムを実施し、学生の学力等の向上を図りました。
- ウ 新入学生を対象として「入学前教育プログラム」を実施し、学習習慣の維持や国家資格取得に必要な基礎学力の育成を図りました。

(5) 実践活動の充実

- ア 通常の講義に加え、「病院実習における心構え」，「シャープニング」，「音波ブラシの使い方」，「病院歯科における歯科衛生士の役割」等の特別講義を実施しました。
- イ フッ化物塗布事業や歯の健康教室へ参加しました。

(6) 地域医療機関への就業支援

- ア 歯科衛生士の資格を習得させ、地域の医療機関等へ積極的に就業させることにより地域医療従事者の提供体制の充実に努めました。
- イ 11月より就業支援を行い、就職希望者38名のうち35名が就職しました。

(7) 学生の状況

- ア 1年生（第41期生）の状況

	人数	備考
学生数	50	入学者 50名（受験者数 57名）
進路変更等	2	退学者 1名 休学者 1名
進級者	48	

イ 2年生（第40期生）の状況

	人数	備 考
学生数	47	
進路変更等	1	退学者 1名
進級者	46	

ウ 3年生（第39期生）の状況

	人数	備 考
卒業生	39	
うち歯科衛生士国家試験合格者	35	合格率 89.7%
卒業生の進路		
医療機関就職者（歯科衛生士）	31	就職希望者 38名（就職率 92.1%）
医療機関就職者（歯科助手）	4	
就職活動中	3	
その他	1	
合 計	39	

エ 平成31年度入学生の募集状況

試験科目…………… 国語総合，適性検査，面接

試験区分	試験日	受験者数	合格者数 (入学者数)	競争率
A O 入 学	平成30年 9月30日	19	18 (18)	/
推薦・特別入学	平成30年10月18日	28	28 (28)	
一 般 入 学	平成31年 1月17日	13	3 (3)	
一般入学(2次)	平成31年 2月10日	9	1 (1)	
一般入学(3次)	実施無	—	—	
合 計		69	50 (50)	1.38

※ 入学定員 50名

※ 平成31年度入学生 50名

※ AO入学（アドミッションズ・オフィスの略）

論文や面接から志願者の意欲や個性などを測り，学校が求める学生像に合った入学生を選抜する。

5 その他の事項

(1) 理事会に関する事項

会議名	開催(議決) 年月日	件名
第1回 理事会定例会	平成30年 5月25日	報告第1号 職務執行状況の報告について 議案第1号 平成29年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業報告及び 決算の承認について 議案第2号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団役員等候補者の推薦につ いて 議案第3号 平成30年度第1回評議員会定時会の招集について
第2回 理事会臨時会	平成30年 6月11日	議案第1号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団理事長, 同副理事長, 同 常務理事の選定について
第3回 理事会定例会	平成30年 12月21日	報告第1号 職務執行状況の報告について 議案第1号 専決処分した事件の承認について 議案第2号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団給与及び旅費規程の一部 改正
第4回 理事会定例会	平成31年 3月25日	議案第1号 平成30年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団補正予算(第 2号) 議案第2号 平成31年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業計画及び 収支予算 議案第3号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団就業規則の一部改正 議案第4号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団附属宇都宮歯科衛生士専 門学校学則の一部改正 議案第5号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団職員の永年勤続表彰につ いて

(2) 評議員会に関する事項

会議名	開催(議決) 年月日	件名
第1回 評議員会定時会	平成30年 6月11日	議案第1号 平成29年度公益財団法人宇都宮市医療保健事業団事業報告及び 決算の承認について 議案第2号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団評議員の選任について 議案第3号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団理事の選任について 議案第4号 公益財団法人宇都宮市医療保健事業団監事の選任について

(3) 登記事項

登記原因年月日	申請先	事項	登記年月日
平成30年 6月11日	宇都宮地方法務局	役員等変更登記	平成30年 7月10日

(4) 栃木県知事に対する届出等に関する事項

届出年月日	事項
平成30年 6月29日	事業報告等の提出
平成30年 8月24日	変更の届出（役員等の変更）
平成31年 3月29日	事業計画書等の提出

(5) 役員等に関する事項（平成31年3月31日現在）

役職名	人数	氏名	備考
理事長	1	片山 辰郎	
副理事長	1	北條 茂男	
常務理事	1	手塚 敏男	
理事	7	齋藤 公司	
		益田 俊英	
		長谷川英一	
		石崎 一郎	
		川俣 浩	平成30年6月11日就任
		齋藤 高藏	
		神林 博明	
監事	2	佐藤 行正	
		船山 伸一	平成30年6月11日就任
評議員	11	亀卦川良宣	
		小林 健二	
		高橋 映夫	
		廣瀬 誠	
		手塚 英和	
		石岡 和男	平成30年6月11日就任
		阪口 勉	
		荒木 宏	
		宮崎 務	
		高橋 郁夫	
		坂本 裕一	
合計	23		

(6) 職員に関する事項（平成31年3月31日現在）

職名 部門	事務局長	次長	課長 学科長 主幹	課長補佐 GL副主幹 副主幹	係長 GL主査 教務主任 主査	主任	主任書記 主任技師	書記 技師	専任教員	嘱託員	合計
事務局	(1)	(1)								2	2
総務課			(1)		1		2	1			4
救急診療所			1	2		1				1	5
健診センター											0
事業推進課			1	3	3	1	5	2			15
健診課			1	1	8	1	5	6		2	24
准看護学校			1			1			3	1	6
歯科衛生士学校			1 (1)	1					3	1	6
合計	0	0	5	7	12	4	12	9	6	7	62

※ 総務課長については、事務局次長が兼務している。

※ 事務局長、事務局次長及び歯科衛生士学校学科長は嘱託員である。